

東予港でバリアフリー教室・フェリーの乗り方教室を開催しました



名称 : 楠河小学校バリアフリー教室・フェリーの乗り方教室 in オレンジフェリー
日時 : 令和6年11月1日金曜日 13時40分～15時10分
場所 : 東予港 おれんじおおさか船内
参加者 : 西条市立楠河小学校5・6年生30名
主催 : 国土交通省四国運輸局
協力 : 四国開発フェリー株式会社、社会福祉法人西条市社会福祉協議会、CIL星空
協賛 : 四国旅客船協会

児童の皆さん
 は講師の方に
 たくさん質問
 されていたび
 よ～！



車いす利用者の方の講義

講師:CIL星空代表 井谷様

「障害の社会モデル」の考え方についてお話いただき、障がいとは社会の側にあり、周りの環境の変化や手助けによって乗り越えられることを学びました。



車いす利用者疑似・介助体験

講師:社会福祉法人西条市社会福祉協議会

車いすの操作方法を教わった後、段差に見立てた障害物や、バリアフリー化された船内のエレベーターや廊下の移動を車いすで介助・自走していただき、車いす利用者の方の移動の難しさや、介助時にどうすれば安心してもらえるかを実感しました。



フェリーの乗り方教室

講師:四国開発フェリー株式会社

ロイヤルやスイートといったまるでホテルのようなグレードの客室や、入り口の広いバリアフリー客室等についてもご説明いただきました。また、普段は入ることができないブリッジにも特別に見学させていただき、色々な設備に興味津々の様子でした。

児童の皆さんからの感想

- ・その人がしょうがいじゃなくまわりがしょうがいということがわかった。
- ・介助の人は、車いすの前のタイヤをうかせるのにけっこう力があるし、車いすを自分で運転するのは少しのたんさでもこわかったです。
- ・フェリーやバリアフリーの工夫は、とてもしっかりしていてすごかったです。とくにへやの入り口の広さが、車いすの人のためにすこし広がっているというのが、車いすにのっている人にとってとてもありがたいと思いました。